



あかやま

創刊 1974年

No. 913

2020/1/5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0953
東京都千代田区浅草橋3-1-3
日中ビル5階
電話 03(5829)2140(代)
FAX 03(5829)2141
http://www.jica.or.jp
E-mail: akayama@jica.or.jp
郵 10110-1-2176

日中友好協会
岡山支部
〒719-0034
岡山県北区下伊福
西町1-53 民主会館1F
TEL: FAX 0861 250-1804

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8031
倉敷市福原町西2-461-41
TEL: FAX 0861 411-7806

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhongyouhao.jinaa.net
メールアドレス
rizhongyouhaoiehiokayama@yahoo.co.jp



新年おめでとございます 長期的な視野を持ち、今後の日中友好運動を進めていきましょう

新年好了！

日中友好協会岡山支部 支部長 真田紀子

2020年の新しい年が始まりました。

昨年は中国建国70周年の記念の年でした。現在の中国には、世界の大国としての矜持を期待しています。

たしかに経済的には大きな成長を遂げ、「帯一路」などのスローガンのもと各国との経済協力も前進しています。

しかし、香港問題や新疆ウイグル自治区・チベット自治区での民族問題などの内政に、他国から疑念を持たれている状況は変わりません。

私たち日中友好協会は、公正な立場で、長期的な視野を持ち、今後の運動を進めていくことが重要です。

情報操作・支配を超えて

市民レベルの日中友好の発展を

日中友好協会倉敷支部 宇野忠義

地球規模の気候変動・温暖化問題、巨額の富の蓄積と他方での膨大な貧困の蓄積と格差の拡大、財政危機と経済停滞、選挙制度も影響した民主主義の機能不全と権力の横暴・腐敗など諸問題が沸騰するつぼの中で、主権者としての国民の民主主義実現の力量が問われています。そのことに関わるゆゆしき問題

が、権力者による情報支配・情報操作であり、情報隠蔽、改ざん、消去などです。その一端は、青木理著『情報隠蔽国家』(河出書房新社、2018年2月)、幕 蓮著『官邸ポリス』(講談社、2018年12月)等で実態が明らかにされています。また、岩波書店の『世界』に連載中の神保太郎『メディア批評』(2019年9月号)にも、安倍政権下で首相秘書官、内閣広報官、内閣情報官などメディア対策を行う部

署、組織の情報操作や謀報活動が報じられ、メディアが操作・支配される政治経済的要因についても指摘しています。

これらを通じて、政権・官邸側による膨大な情報収集網と管理体制、逆に、情報の小出し・選別流出とメディア報道の監視、および、記者・メディア側への情報伝達操作・選別がなされ、政権側の意向が伝播されるような巧妙な仕掛け、体制の構築がうかがわれます。そこには最新のAI技術、コンピューター技術やSNSも動員されていると考えられます。

そうした中で、嫌中・反韓本やそれらに類する雑誌・テレビ情報が溢れ、偏った情報の氾濫が国民世論にも大きく影響しているとみられます。駅頭で日中友好・不再戦の宣伝をしていると、あなたは反日か」と詰め寄られたことも一再ならずありました。

このたびの香港の民主化運動の報道についても注意を要すると思われる。そのことは、『天権21』(おかやま人権研究センター、12月号)の大西広氏(慶応大学教授)「香港問題とは何か」でも紹介されています。2度の現地調査を踏まえて、次のように指摘しています。

国際問題を論じる原則論として、①暴力に反対、②内政干渉をしないことを堅持して事態を分析すると、9月24日時点(翠論2

1「投稿時点」では、民主派の一部にある暴力行為は①に反し、民主派の運動の重大な障害となっていること、また、その資金のほぼすべてをアメリカの国家財政に依存する全米民主主義基金が前回の「雨傘革命」の時と同様に介入していることも②の原則に反するということを指摘しています。

大西教授は、その後の事態の補足として、暴力行為のエスカレートがあり、権力側にもマスク着用の禁止や警察による発砲など「行き過ぎ」が見られるに至っているが、暴徒側も爆弾の使用や店舗、ATMの破壊を繰り返しており、「民主主義」の主張と相容れない犯行に及んでいること。さらに、アジア記者クラブの現地情報『通信』を紹介し、香港の暴力の背後で暗躍する米政府の体制転覆チームの活動を豊富な取材と調査から実証する」という記事を紹介しています。さらにまた、調査報道ジャーナリスト、アン・ドレ・ヴルチエタ氏の「狼藉者に眉をひそめる香港住民／なぜデモ参加

者は米国旗を掲げるのか」を紹介し、市民の立場からの報道の重要性を指摘しています。

現地取材をした評論家の田中宇(さかい)氏も米国の介入について触れていますが、日本の多くの報道は、この点は軽視、無視しているように思われます。大西教授の指摘するように、国際問題を論じる際の二つの原則的立場(暴力否認・人権擁護、内政干渉)で事態を正確に捉え、評価すべきです。その点で、香港問題の報道の多くは偏っているのではないかと思います。

このような情報操作・情報支配を乗り越えて、日中両国の人民レベルの交流、理解を進め、お互いをよく知り合うことが何よりも重要だと思います。世界人権宣言に基づく、人間・同胞ベースの付き合いを深めることに努力したいと思えます。

なお、大西教授が一番指摘したかったことは、香港の若者たちの真の敵は「甲国」ではなく、『香港財界』であるということ(これを付言しています。その点詳しくは、『翠論21』の最新号に掲載されているそうです。私も是非読んでみたいと思います。

第7回中国百科検定を終えて

パールハーバーから78年目の12月8日、第7回中国百科検定は、全国138人が受験申し込みをし、午後3時から全国一斉に試験が行われました。岡山では9人が応募し、そのうち8人が受験しました。国際交流会館で行われたこの試験に、特級3人、1級4人、初級1人が挑戦、男性3人女性5人、そのうち70代が半数を占めました。6人が日中友好協会の人であり、広がりの中で、課題があります。

試験終了後の反省会には、高松から受験のために来た40代の女性が列車の都合で不参加でしたので、7人が参加しました。始まりの3時をもう少し早くできないかな、という意見が出ています。

アンケートでは公式テキスト「中国百科」、中国百科検定問題集、増補分などについて、

役立ったというのが大半でした。中国への関心が深まったという人がほとんどでした。検定に向けての学習の機会や対策講座を準備できなかったことなどが反省として残ります。そして何としても協会の外に打って出ること」が求められていることを痛感しています。

受験生の変わり種は、残留婦人4世のMH君で、彼は小学校6年、初級を受験しました。

開始1時間前には会場に着、一人で自転車と列車を利用してきました。自宅から会場までのコースは、前もって予行練習をしたそうで、両親のしつかりした援助がありました。帰りも「送ろうか」と言っても「自分で帰る、自転車もある」と言って一人で帰りました。

文責 曾田

第8回 中国百科検定 3月20日(金・祝)

受験申込受付を開始しています

第7回 第8回
中国百科検定
理解は絆を強くする
中国力で可能性を広げよう
ものしり君
【問】三国時代の蜀の宰相として著名な人物で、北伐の途中病没したのは誰?
①劉備 ②關羽 ③曹操 ④諸葛孔明
検定実施日
第7回:2019年12月8日(日)
第8回:2020年3月20日(金・祝)

あなたも今日から中国通に!
公式テキスト好評販売中!!
中国百科
出版 株式会社こん
価格 2800円+税(送料別)
テキスト・問題集の増補分
中国百科検定問題集
出版 株式会社こん
価格 1000円+税(送料別)
最寄りの書店、日中友好協会連合会・支部、または本部事務局へお申し込みください。



第8回中国百科検定の岡山会場は岡山国際交流センターです。第7回百科検定の問題と解答は日中友好協会本部のホームページに掲載されています。

http://www.jcfa-net.gr.jp/kentei/con_05kakomon.html

講演会

12月14日 主催 岡山・十五年戦争資料センター

「現代アートが問う「原発」「残留孤児」「難民」」

講師 川上幸之介さん

川上さんは1979年生まれ、若い！現在、倉敷芸術科学大学の講師だが、いままでの活躍の場は欧米のようで、ロンドンの芸術系大学を修了している。

日本へ帰ってみて「こんなに表現が不自由な国になってしまったのか」とびつくりしたと。ドイツでは問題にもならないような「表現」が、忖度によって排除されている。

政治のトップが「自分の国のナチスの罪をぜつたいに許さない」という姿勢と、日本の戦犯が返り咲いて、夢よもう一度」という姿

勢のちがいにによるものだろう。とにかく、日本は海外からみて異常な国になっている。今回、川上さんの「現代アート」の追求が「映像作品」の形で紹介された。

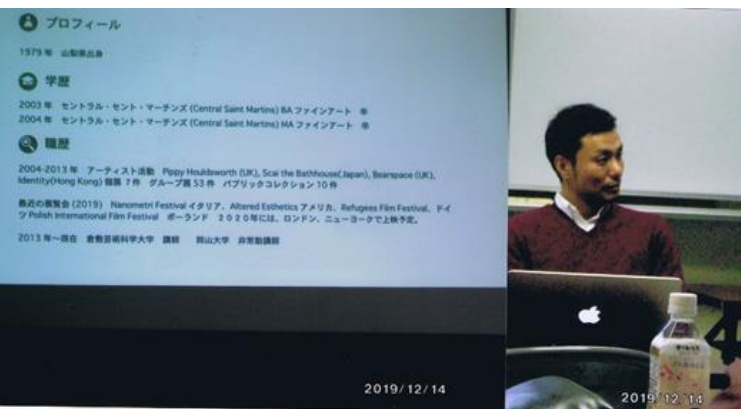
総社市在住の、残留孤児夫人に、心ゆくまで中国語でしゃべってもらおう。すると「本音」が出てくる。

難民としてやってきた外国人労働者を「ビザの延長」というエサでだまして、孤立した宿舎に入れ、原発事故の後始末をさせる。

支配者は「自分に都合の悪いことは、無かったことにする」——これを許してはならない。川上さんは映像というアートに結びつけて表現していく。視点はいつも弱者の側に注がれている。

15人ほどの参加者が、全員発言して考えあい、盛り上がった会になってよかった。

坪井あき子



次回の新聞発送作業は1月14日(火)午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

飼井林田田内
犬河小真曾田竹